11. 御堂筋エリアのビジョン

### 御堂筋の現状と課題

### 御堂筋の現状

- 〇御堂筋は大阪を代表する業務·商業集 精地
- Oしかし他の拠点の開発等により、その相対的地位が低下
- ⇒一方で、都心居住が促進
- 〇近年、業務地・商業地としてのポテンシャルを見直す動きも有り

### 御堂筋の再構築の必要性

### 御堂筋の再構築にあたっての課題

- 〇都心のマクロトレンドへの対応の必要性
- •24時間化•多様性、安全•安心 等
- ○御堂筋の「強み」を発揮したまちづくり

### エリアの強み

### 【キタの強み】

- ○国内外の交通アクセス
- ○商業・業務集積
- ○うめきた等の大規模開発 等

### 【中之島の強み】

- 〇文化・学術拠点
- 〇水辺空間等の都市環境 等

#### 【御堂筋の強み】

- ○業務・商業地の集積、ブランド
- ○大阪の伝統や文化の存在
- ○御堂筋などの歩いて楽しめる都市 環境 等

### 【ミナミの強み】

- 〇大阪らしい観光資源集積
- 〇大阪南部の玄関口 等

### 今後のエリアビジョン

### 【キタ】世界とつながるビジネス

- ◇世界から人材を集積し、交流から新しい価値を生むビジネス拠点
- ◇グローバル企業、国際的機関の集積
- ◇緑が豊かな都市空間

### 【中之島】大阪の強みを発信し世界の力を借りる文化・交流

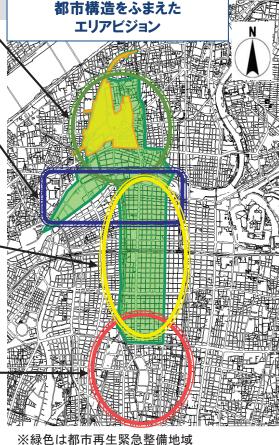
- ◇国際的な文化交流拠点
- ◇外国人が安心して居住できる国際標準の生活利便施設の集積
- ◇水辺空間を活かした都市空間

### 【御堂筋エリア】大阪の伝統と革新がうみだす世界的ブランド・ストリート

- ◇世界を魅了する個性豊かな「にぎわい」の形成
- ◇多様な機能をあわせ持つ「ビジネス」地区の形成
- ◇ヒューマンな「都市環境」の形成

### 【ミナミ】世界を惹きつけるエンターテイメント

- ◇国際観光都市「KANSAIの玄関□」
- ◇「食」「ライブ・エンタメ」「歴史」をキーワードとしたコンテン ツの充実
- ◇道頓堀川を軸とした賑わいと回遊性(まち歩き)の充実



※緑色は都市再生緊急整備地域※黄色は特定都市再生緊急整備地域

## 御堂筋エリアのビジョン

## 【コンセプト】

## 大阪の伝統と革新がうみだす世界的ブランド・ストリート ~歩いて楽しめ、24時間稼働する多機能エリアへ

## 【今後の御堂筋の方針】

1. 複合的な都市機能を備えたまちへ

2. 御堂筋の強みをより発揮した大阪の顔にふさわしい世界的なまちへ

## 【各分野における取組方針】

### 都市機能(産業)

# 1. 世界を魅了する個性豊かな「にぎわい」の形成 ~ 御堂筋フェスティバルモール化

- ・世界を魅了する大阪・関西一の「ハレ」の場として、 クオリティの高いデザインストリートの実現などに より、キタからミナミまで各エリアの個性をいかし た多様なにぎわいを形成することで、御堂筋のブラ ンドカ向上を図る。
- 2. 多様な機能をあわせ持つ「ビジネス」地区の形成
- ・エリアのブランドや歴史・風格ある都市環境等を強み とした大阪を代表する業務集積地を形成する。
- ・業務機能を軸としながらも、業務機能の強化に資する 多様な機能(商・学・住等)の導入を図る。
- ・また、防災性能・環境性能の向上を図り、エリア全体 として国際レベルの都市機能を備えたビジネス地区の 形成をめざす。

# 都市デザイン

## 3. ヒューマンな「都市環境」の形成

・統一感のある都市景観を継承しつつ、 ヒューマンスケールのまちなみ形成 を図るとともに、人中心の道路空間 への再編の動きと連動しながら、 ヒューマンな「都市環境」の形成を 図る。



## 11. 御堂筋エリアのビジョン



# 御堂筋の各ゾーン毎の将来像(案)

①淀屋橋~本町・沿道

②本町~長堀・沿道

③御堂筋周辺(船場地区)

4長堀~難波

現状

### ■業務集積地としての相対的地位が低下

- ・近年の社会経済情勢の影響や周辺開 発の進捗にともない、沿道ビルのオ フィス賃料等は下落傾向
- ■近年一部では質の高いにぎわいも充実
- ・近年、淀屋橋odonaや本町スクエア 等、魅力ある施設も見られるが、全 体としては乏しい。

### ■業務と商業が混在

■空間的な落ち着き

多機能複合空間

能複合空間

- ・淀屋橋~本町の業務エリアと長堀~ 難波の商業エリアに挟まれ、業務と 商業が混在するエリア
- ■ブランドショップ、高級車のショールーム 等の立地
- ・長堀通りに近いエリアにおけるブラ ンドショップの立地とともに、昨今、 沿道ブランドの評価から高級車の ショールーム等の立地が相次ぐ

・都心でありながら、空間的な落ち着

■時代のニーズに合わせて表情を変える

・御堂筋沿道であるブランドは保ちつ

つ、淀屋橋~本町、長堀~難波間の

機能が融合し、時代のニーズに合わ

せて表情を変えることができる多機

きを持ち合わせている地区

### ■居住系への土地利用転換が進捗

- ・船場地区ではオフィス需要の低迷等 により、居住系の土地利用への転換 が目立つ
- ■歴史資源等を活かした取組の進捗
- ・三休橋筋の整備、ライトアップなど 歴史を活かした取組が進捗

### ■商業地としての相対的地位の低下

・梅田や阿倍野において商業の集積が 進み、相対的地位が低下

### ■外国人観光客の増加

- ・国内の観光客はもとより、一時的な 減少はあったものの近年は中国人や 韓国人観光客が増加傾向
- ■マンションやSOHOの立地
- ・堀江地区等では、マンションや SOHO等の立地が進む

強み

### ■業務地としてのブランド

- ・相対的地位は低下しつつあるが、現 在も大阪一の業務集積地区であり、 沿道は大阪経済の顔
- ■大阪の上質な歴史・文化
- ・沿道には、大阪の上質な歴史文化を 代表する資源が存在
- ■風格ある都市景観
- 統一されたまちなみなど風格ある都 市景観を形成

### ■業務機能の集積

- ・企業の流出は進むが、現在も金融や 製薬、商計等、大阪を代表する企業 が集積
- ■大阪の上質な歴史・文化
- ・適塾などの歴史資源や船場文化など、 船場地区では、大阪の上質な歴史文 化が存在

### ■大阪・関西を代表する集客・観光資源

- ・道頓堀等、大阪・関西を代表する集 客・観光資源が集積
- ■活力ある多様な商業集積
- ・国内外、世代を問わず、様々な人が 楽しめる活力ある多様な商業集積の 存在

課題

### ■土日や夜間のにぎわい

- ・業務機能が大半を占め、土日や夜間 も含めエリアのブランドカ向上につ ながるにぎわい形成が課題
- ■エリアの再構築
- ・業務地としての相対的地位の低下を 踏まえ、エリアの再構築の必要性

### ■業務エリアと商業エリアを結ぶエリアとし ての役割の発揮

・業務エリアと商業エリアを結ぶエリ アとして、強みをいかした特色のさ らなる発揮

### ■業務機能の充実強化

- ・沿道同様、業務地としての相対的地 位の低下を踏まえ、エリアの再構築 の必要性
- ■土日のにぎわいの充実と回遊性の向上
- ・土日のにぎわいも含め、にぎわい形 成や回遊性向上が課題。

### ■商業地としての新たな魅力の充実・創出

・商業地としての相対的地位低下を踏 まえ、新たな魅力の充実・創出の必 要性

方針

業務を軸としつつ魅力あるにぎわいの 積極導入によりエリアを再構築

落ち着きのある空間の強みをいかし、 都心の多様性、多機能化といった時 代のニーズに合わせた特色の発揮

多機能化

職住近接を支えるエリアとして

個性や活力をキーワードとし 集客・観光の拠点性を向上

将来像

<淀屋橋~本町・沿道> 上質なにぎわいと

風格あるビジネス地区

<本町~長堀・沿道>

特別な時間を愉しむことができる 落ち着きある複合地区

<淀屋橋~長堀・周辺(船場地区)>

船場スタイルとしての 職・住・遊近接型のコンパクトな街 <長堀〜難波・沿道及び周辺>

大阪を代表する 活力ある集客・観光拠点